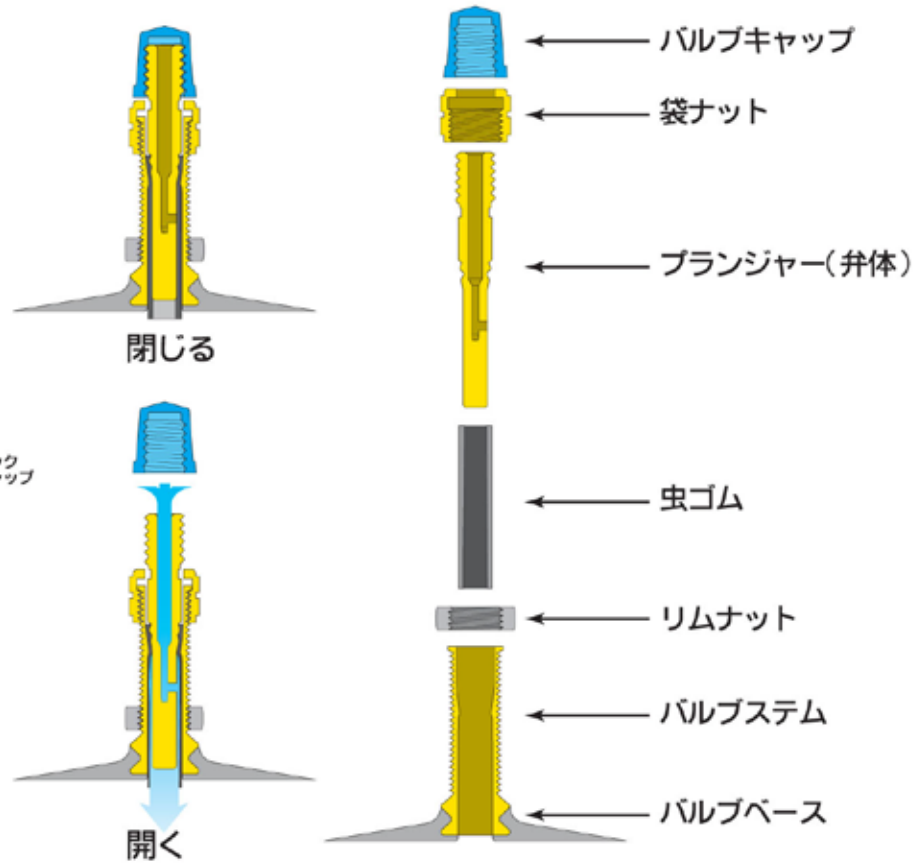


自転車用バルブ構造 & ポンプ口金

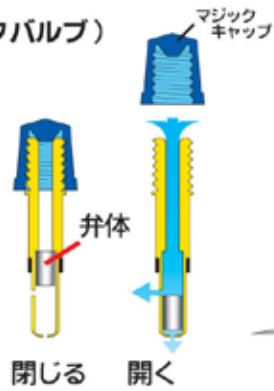
英式バルブ English Valve

■英式バルブは自転車バルブとして最も多く一般的に使用されているバルブ形式です。通勤通学、お買い物用のシティサイクルに多く使われています。虫ゴムと呼ばれるゴムチューブを弁として使い、ポンプの加圧により虫ゴムが伸縮することで開閉します。欠点としては、空気圧の調整が難しく高圧には適しません。300~400kPa(3~4kgf/cm²)程度の空気圧で使用します。



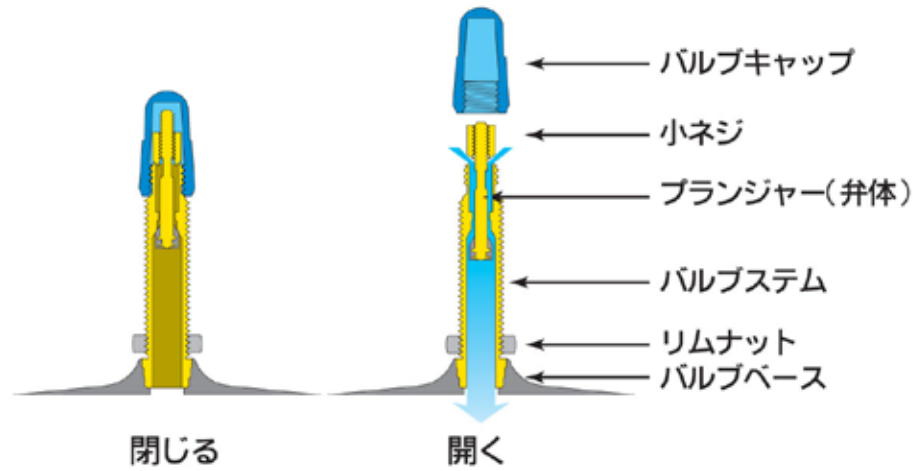
楽々バルブ(アリゲータバルブ)

●虫ゴム弁式バルブとちがいシリコン樹脂製弁体がポンピング時の圧力によってバルブ内部で上下して弁の役目を果たす構造です。虫ゴム式バルブよりもポンピングが軽く、約半分の力で済みます。虫ゴムのように劣化して割れたりせずに耐久性にも優れています。マジックキャップと併用して使用します。



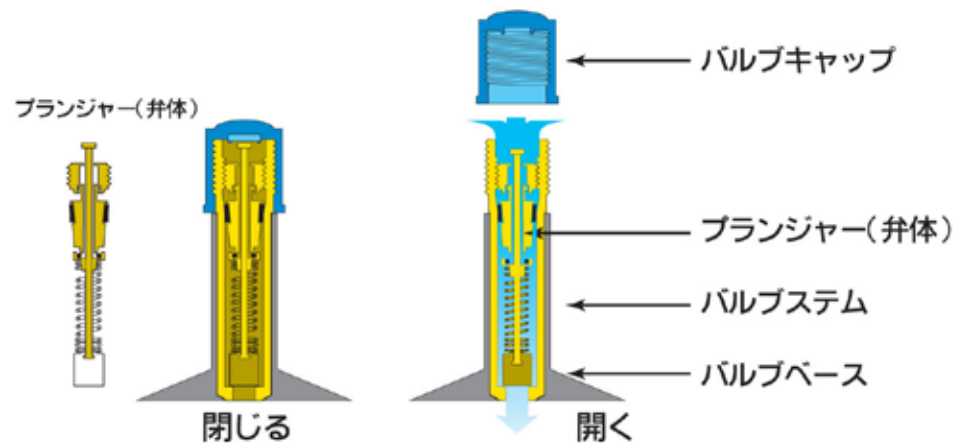
仏式バルブ French Valve (Presta Valve)

■仏式バルブは高圧に耐えられる構造のバルブ形式です。主にスポーツ車に多く使用されます。空気圧調整が簡単で、英式や米式と比較して軽量な点も仏式バルブの特長です。1000kPa(10kgf/cm²)前後の高圧での使用が可能です。

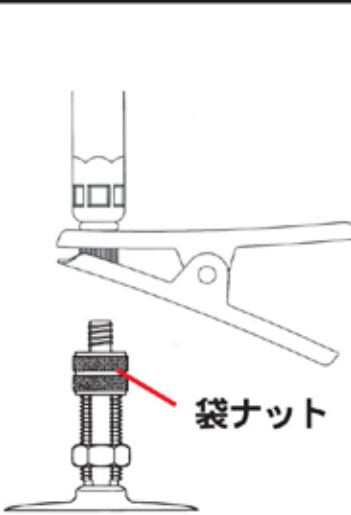


米式バルブ American Valve (Schrader Valve)

■米式バルブは自動車や自動二輪に使用されるものと同じ構造です。ブランジャー(弁体)にバネを装着しその伸縮力で弁の開閉を行う構造です。耐久性も高く、主に低圧に使用し、英式仏式に比較して空気漏れが最も少なく空気保持性に優れます。米国で主流ですが、日本では自転車用としては少数派です。

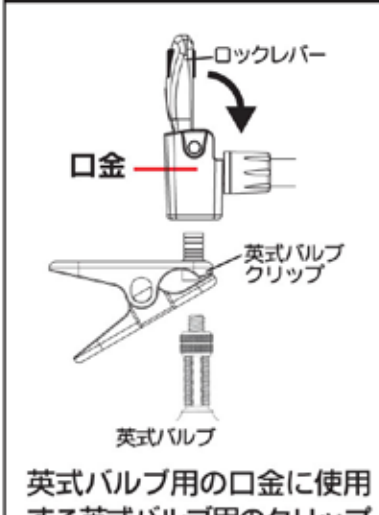


英式バルブ専用クリップ (通称: トンボ)



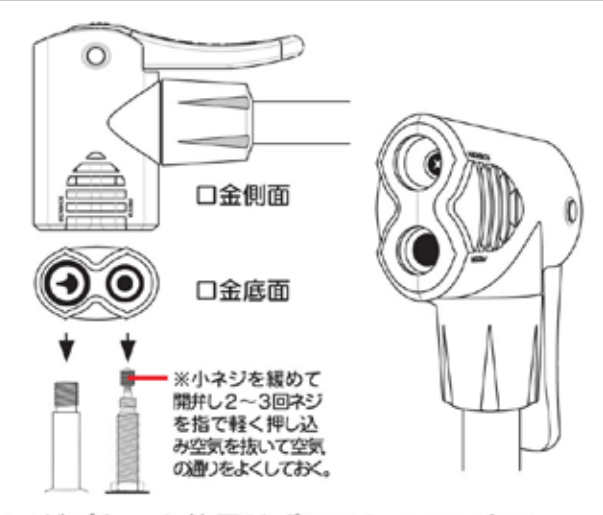
英式バルブ専用のクリップ袋ナットを挟み使用します。

英式バルブ専用クリップ (口金用アタッチメント)



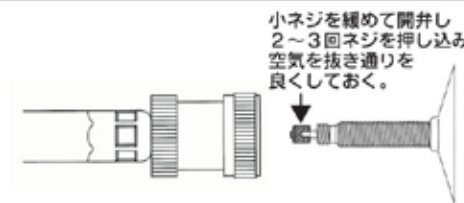
英式バルブ用の口金に使用する英式バルブ用のクリップです。口金にクリップを差し込みロックレバーで固定して使用します。

仏式・米式バルブ用口金 (デュアルヘッド口金)



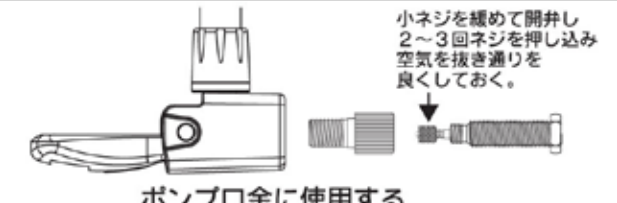
アダプターを使用せずにひとつの口金で米式と仏式の両方が使用できます。口金に米式用と仏式用の穴がふたつあり、いずれかに差し込むだけで空気充填ができます。

仏式バルブ専用口金



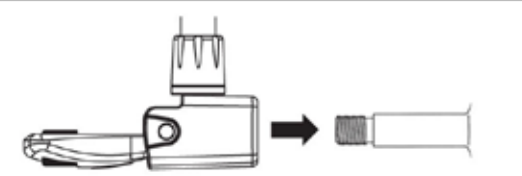
仏式バルブ専用の口金。バルブを口金の穴に差し込み使用します。
※仏式専用口金はポンピング時の加圧により口金のゴムパッキンがバルブを押しこむことで固定し、ポンピング中の口金の抜けを防止しています。これにより空気完了後は、ホース内の圧力が下がらない間は口金が固定され抜けにくくなります。ホース内の圧力が下がってゆっくりに戻ります。抜いてください。(とくに新品のうちはゴムが固く抜けにくくなっています)

仏式バルブ用アダプター (口金用アタッチメント)



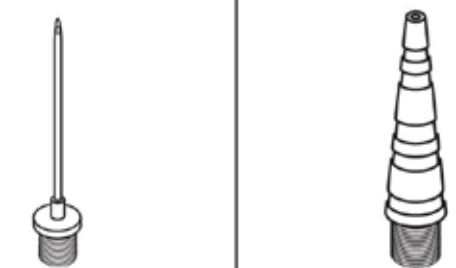
ポンプ口金に使用する仏式バルブ用のアダプターです。先ずバルブにアダプターをねじ込み次に口金をアダプターに差し込みロックレバーで固定して使用します。

米式バルブ用口金



米式バルブ用の口金。口金にバルブを差し込み口金のロックレバーで固定して使用します。

ボール用アダプター 浮き輪用アダプター



米式バルブ用の口金にセットして使用します。

空気圧についてのご注意

空気圧はタイヤの種類によって標準空気圧(推奨空気圧)が異なります。タイヤ側に刻印されている標準空気圧に従って空気を入れてください。空気圧の測定は、ゲージ付のポンプを使用するか空気圧ゲージ(仏式・米式バルブの場合)を使用してください。

タイヤ	シティタイヤ	ロードタイヤ(700C)	MTBタイヤ
推奨内圧目安	300kPa (3kgf/cm ²)	500~900kPa (5~9kgf/cm ²)	300~600kPa (3~6kgf/cm ²)

※上記の内圧はタイヤの種類によって変わります。必ずタイヤ側の標準空気圧に従ってください。